

龍谷大学法学部創設50周年記念事業 「事業報告」

龍谷大学法学部創設50周年記念事業企画委員会

1、記念事業の目的

龍谷大学法学部は1968年（昭和43年）に法学部法律学科 1 学科で創設された。その後1972年（昭和47年）に法学研究科法律学専攻修士課程、1974年（昭和49年）に法律学専攻博士課程を開設し、学部から博士後期課程までの法学教育体制を整えた。

また、1992年（平成4年）に政治学科を開設し、2011年（平成23年）の政策学部開設とともに発展的に募集停止を行い、今日に至っている。

龍谷大学法学部は、建学の精神に基づいて日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民を育成することを目的としてきた。

2017年（平成29年）に創設50周年という節目を迎える年に、特別の記念事業を行い、法学部における教育・研究の成果を学内だけでなく、一般の方々にも広く公開することにより、本学法学部の一層の発展を図ることを目的とした。

2、メインテーマ

『グローバル化時代と私たちの未来』

3、実施期間

2017年4月1日から2018年3月31日まで

4、事業内容

(1) 龍谷大学法学部創設50周年記念講演会

日 時 2017年6月3日(土) 14:00～15:30

場 所 龍谷大学深草学舎

3号館301教室(同3号館各教室にライブ配信)

対 象 本学学生・教職員および一般

・法学部創設50周年事業開催趣旨

橋口豊法学部長挨拶

「本日は、龍谷大学法学部創設50周年記念講演会にご参加を賜り、誠にありがとうございます。五木寛之さんをお迎えして、「いまを生きる力」というテーマでお話をいただきますこの講演会には、一般の方々、そして本学の学生、卒業生、および教職員などを合わせて約1400名もの参加をいただいております。大変ありがたく思っております。

龍谷大学法学部は、1968年に創設されました。その後、時代や社会の要請に主体的に対応し、全学レベルでの組織の展開や再編を経て、今日までに、法学研究科修士課程ならびに博士課程を擁する、学部から大学院までの法学・政治学に関わる教育研究組織を築いて参りました。卒業生たちは、さまざまな分野で活躍を続けております。

50年という節目を迎えた法学部は、「平等、自立、内省、感謝、平和」という龍谷大学の建学の精神に則り、憲法が謳う平和、民主主義、人権という理念の実現を教育の基本方針としております。しかし今日、グローバル化が進展するなかで、世界各地において、平和主義、民主主義、基本的

人権が揺らぐ深刻な事態が相次いでいます。そのため、私たちは、このような状況を見据えながら、「グローバル化時代と私たちの未来」というメインテーマを掲げ、本日の五木寛之さんの講演会をはじめとする様々な50周年の記念事業を企画いたしました。ここで、他の記念事業の企画を紹介させていただくと、4月から6月にかけて「シリーズ 日本国憲法を考える」というテーマで開催する龍谷講座、また、7月7日に本学の法学部出身で弁護士、国家公務員、そして、人材開発企業、大手都市銀行で活躍する卒業生を講師に招いて開催するキャリア・シンポジウム、さらには、12月2日に「グローバル化時代における人権と民主主義」というテーマで作家の高橋源一郎さんやジャーナリストの堤未果さんらをパネリストにお迎えして開催するシンポジウムなどを予定しております。

私たちは、こうした記念事業を通して、混迷を深める時代において、世界や日本が今後進むべき道について考えていきたいと思っております。

龍谷大学法学部が50周年を迎えることができたのは、創設以来本堂に多くの方々に支えられてきたおかげです。皆さまへの感謝の気持ちを胸に刻みながら、法学部のさらなる発展に向けて教職員一同邁進していききたいと思います。

以上をもちまして、私の挨拶とさせていただきます。」

記念講演

テーマ「いまを生きる力」

講 師 五木寛之氏 作家

主 催 龍谷大学法学部

協 賛 龍谷大学校友会、龍谷大学親和会、龍谷大学法学部同窓会、
龍谷大学法学会

参加者 約1,400名

講演要旨

これからの日本社会では、超高齢社会——高齢者として生きなければならない時代——における学問の意義が問われてくる。青春という語に関連して朱夏・白秋・玄冬という語があるように、50歳までの文化・哲学・思想と、それ以降とは異なるだろう。悲しみや愁いも含め、思い出を咀嚼しながら人生を振り返るなかで起こる“人間に対するふっとした思い”が、いまを生きる力を生み出す。私たちは、未来への希望だけでなく、思い出によっても支えられている。

(2) 龍谷講座（法学部創設50周年記念公開講座）

日 時 2017年度前期（全3回） 13：30～15：00

場 所 龍谷大学深草学舎 21号館603教室

対 象 一般

テーマ「日本国憲法を考える」

第1回 2017年4月22日（土）

題目「日本国憲法における平和主義」

講師 丹羽徹氏 龍谷大学法学部教授

参加者 102名

第2回 2017年5月20日（土）

題目「日本国憲法における民主主義」

講師 寺川史朗氏 龍谷大学法学部教授

参加者 93名

第3回 2017年6月24日（土）

題目「日本国憲法における人権保障」

講師 奥野恒久氏 龍谷大学政策学部教授

参加者 100名

(3) 法学部創設50周年 卒業生企画事業（キャリア啓発講演会）

日 時 2017年7月7日（金）13：15～14：45（3 講時）

場 所 龍谷大学深草学舎 22号館B103教室

対 象 龍谷大学法学部生、龍谷大学学生

テーマ「龍谷大学法学部生のキャリア形成——学生時代に歩んだ道は社会
につながっているか——」

講 師 石坂省吾氏 2006年3月卒、弁護士

川村一雄氏 2009年3月卒、三井住友銀行

林 美穂氏 2015年3月卒、国家公務員

吉田恵太氏 2016年3月卒、パソナキャリア

司 会 金子眞也氏 龍谷大学法学部教授

主 催 龍谷大学法学部

協 賛 龍谷大学校友会、龍谷大学親和会、龍谷大学法学部同窓会、
龍谷大学法学会

内 容

龍谷大学法学部出身の弁護士、公務員、民間企業、金融機関など、多方面で活躍している卒業生を講師に招いて、先輩の経験から在学生に対して将来の進路や社会活動等を提示する企画を実施した。ゼミの学生を対象とするキャリア啓発事業の意味も付与し、3 回生ゼミの時間帯に実施した。

参加者 約170名

(4) 龍谷大学法学部創設50周年記念シンポジウム

日 時 2017年12月2日（土）13：30～17：15

場 所 龍谷大学深草学舎 和顔館B201教室

対 象 龍谷大学学生・教職員および一般

テーマ「グローバル化時代における人権と民主主義」

開催趣旨

グローバル化時代の今日、民主主義国が否かを問わず、ヘイトスピーチ、移民・難民排除、反イスラム、障害者排除など新しい「他者」の創出と排除・差別、貧困、労働の不安定化が広がっています。それは、多くの場合、「自国民優先」、「安全保障」や「グローバル競争」の名の下で行われています。しかし、他方で、これらに対抗する市民の抗議行動や連帯活動、公正と正義を求める活動も活発に展開されています。

本シンポジウムでは、この複雑な底流を見極め、これからの人権と民主主義の課題と展望を明らかにすることをめざします。

司 会 諸根貞夫氏 龍谷大学法学部教授

報告者 高橋源一郎氏 作家・明治学院大学国際学部教授

「人権、民主主義、ことば」

堤 未果氏 国際ジャーナリスト

「グローバル化時代に商品化される人権」

金 尚均氏 龍谷大学法学部教授

「排外主義と共生の狭間で」

橋本祐子氏 龍谷大学法学部教授

「感情から人権へ、人権から感情へ」

渡辺博明氏 龍谷大学法学部教授

「福祉国家と排外主義～試される北欧デモクラシー」

モデレーター 落合雄彦氏 龍谷大学法学部教授

主 催 龍谷大学法学部

協 賛 龍谷大学校友会、龍谷大学親和会、
龍谷大学法学部同窓会、龍谷大学法学会

参加者 約500名

概 要

司会者である諸根貞夫氏よりシンポジウムの開会が宣言されたのち、ま

ず橋口豊氏（龍谷大学法学部長）が主催者を代表して挨拶を行い、次いで高橋進氏（龍谷大学法学部教授）より本シンポジウムを企画した意図やその趣旨が説明された。その後、最初の演者である高橋源一郎氏が「人権、民主主義、ことば」と題する講演を行った。そのなかで高橋氏は、人権や民主主義を考える上での、特に若者の「社会的洗脳」を解くことの重要性を強調した。現代の若者は、複雑な現実を慎重に理解したり、自分なりの言葉で語ったりするのではなく、むしろ周囲から与えられた情報を鵜呑みにしてしまい、それを鸚鵡返しのようにしてあたかも自分の意見であるかのごとく発する傾向をもつ。そうした思考のあり方から若者を解放することが肝要であり、その上で私たちは、日本国憲法を知り、それについて考え、そして、その「空欄の多い憲法」に意味や内実を与えていかなければならない、と高橋氏は説いた。

二番目の演者である堤未果氏は、「グローバル化時代に商品化される人権」というタイトルで講演を行い、巨大企業が政治献金などによって政治家や政党を「買収」し、企業側に有利な法律を次々と成立させているアメリカ社会の実情を紹介した。そして、その上で堤氏は、今日もっともグローバル化したのは「豊かさ」でもなければ「平和」でもなく、まさに「市場」であり、そうした巨大な市場とマネーが蠢くグローバル化時代には、アメリカ流の新自由主義が世界を席卷しかねないと指摘し、政治、法律、そして人権さえもがお金で買われ、支配され、いわば「商品化」されつつあることに警鐘を鳴らした。

三番目の演者である金尚均氏は、「排外主義と共生との狭間で」と題する講演のなかで、フェイクニュースやヘイトスピーチによって、ウソやデマがいともたやすく「真実」へと転化してしまう現代日本社会の病理を詳細に論じた。そして、そうした社会的な問題の根底には、複雑な事象を、時間をかけて丁寧に理解しようとする姿勢から逃避し、感情的に心地よいシンプルなメッセージに身を委ねてしまおうとする心性があるとした上で、

金氏は、そうした現代日本社会の課題の克服のために、龍谷大学の建学の精神でもある「共生（ともいき）」をいまこそ真に理解し実践することが重要であると訴えた。

四番目の演者である橋本祐子氏は、「感情から人権へ、人権から感情へ」というタイトルの講演を行った。そのなかで橋本氏は、人権という概念を、その史的淵源とされる自然権から読み解いた。橋本氏によれば、自然権は、近代市民革命に大きな影響を与えたものの、19世紀になって多方面からの批判に晒され、かつてほど顧みられなくなったという。しかし、20世紀に入ってナチスによるホロコーストなどが生じると、自然権は人権という新しい概念として「復活」を遂げ、その普及と定着が広範かつ重層的に試みられるようになった。とはいえ、20世紀を通じて人類が目撃したものとは、他者への憎悪や嫌悪といった感情にもとづく数々の人権侵害であった。そうした厳しい現実に対して私たちが、理性によって人権概念を分析したり擁護したりすることは可能かもしれないが、そうした営為にはおのずと限界があるようにみえる。むしろ感情レベルでの人間的な共感を醸成していくことこそが、人権の保障や定着にとっては有用なのではないか、と橋本氏は説く。

最後の演者である渡辺博明氏は、「福祉国家と排外主義～試される北欧デモクラシー～」という講演のなかで、スウェーデンの移民・難民政策をめぐる最新の動向や排外主義的な政党であるスウェーデン民主党の台頭などについて詳細な報告を行った。そのなかで渡辺氏は、スウェーデン民主党はたしかに議席数を伸ばしているものの、他の会派は同党を非民主勢力と看做して警戒し、交渉を原則として控えていること、2015年からの「欧州難民危機」による難民受け入れの急激な増加は一時的な現象でもあり、それをもって同国の移民・難民政策の変化や排外主義の台頭を論じることにはある程度慎重でなければならないことなどを指摘した。

こうした5名の演者による講演ののち、全体討議が行われた。そのなか

では、民主主義とは何か、人権は普遍的な権利たりうるのか、スウェーデンの移民・難民の受け入れの経験から日本が学ぶべき教訓はあるか、フェイクニュースを乗り越えるために私たちがなすべきことは何か、人権と民主主義を守るための大学の役割とは何か、といったフロアーから寄せられた質問をめぐって演者がそれぞれの意見を述べ、活発な議論が展開された。

(5) 法学部創設50周年記念式典（祝賀パーティ）

日 時 2017年12月2日（土）18：00～20：00

場 所 龍谷大学深草学舎 22号館地下食堂

招待者 学長、名誉教授、大学関係者、学生代表、親和会、校友会、
同窓会、高校関係者

参加者 約100名

(6) 学生企画事業

企画名「卒業までにしたい50のこと」

「卒業までにしたい50のこと」と題し、在学生在が卒業までにしたいことを募集して、集まった意見のうち50個を紹介するとともに、法学部学生企画・広報スタッフ（LeD's）のメンバーがそのうち以下の2つを実現した。それぞれ動画を作成し、12月2日の記念式典にて公開、また、YouTubeにアップした。

①「龍大鬼ごっこ」

内 容 学生と教職員の交流をコンセプトとして、深草学舎中央ステージ前にて鬼ごっこを行った。

日 時 2017年11月7日（火）7：30～8：00

場 所 龍谷大学深草学舎 中央ステージ前

対 象 法学部生、法学部教職員

参加者 教職員12名、学生56名

②「ワンたちプロジェクト」

内容 犬に触れてもよいという飼い主の意思表示としての「ワンたちマーク」を広め、犬の殺処分の減少に繋げようとの思いから、犬の前足と人の手が触れるデザインの「ワンたちマーク」と名付けた缶バッジを作成し、飼い主やペットショップへの配布を行った。

作成数 500個

配布方法 法学部創設50周年記念式典にて参加者に配布するとともに、一般及び学生を対象に法学部教務課にて希望者に無料配布を行った。

(7) 出版事業

『龍谷大学法学部50年のあゆみ』冊子刊行

作成数 2000冊

配布先 名誉教授、本学教職員、高校関係者、法学部同窓会、公共図書館、大学図書館

(8) 展示パネル作成

記念式典や入試説明会などの事業にて展示ができるように、龍谷大学法学部50年のあゆみを説明した展示用パネルを作成し、法学部創設50周年記念式典にて展示を行った。

(9) 記念品作成

法学部創設50周年を記念して記念品を作成し、法学部創設50周年記念式典にて参加者に配布するとともに、法学部同窓会入会パーティにて卒業式表彰者に配布を行った。

品名 ベーシックメタルスクリューペン

作成数 200個

(文責 龍谷大学法学部創設50周年記念事業企画委員会委員長 高橋進)